

ATWS 北海道実行委員会 令和4年度第1回総会 議事録

1 日 時：令和4年(2022年)5月24日(月)13:30～13:55

2 開催方法：Zoomにより開催

3 議 事

第1号議案 ATWS2021 バーチャル北海道/日本の開催報告について

第2号議案 令和3年(2021年)度事業報告、決算及び監査報告

第3号議案 令和4年(2022年)度事業計画及び予算

第4号議案 実行委員会規約の改正について

(道/山崎観光振興監)

- ・ただ今から、令和4年度第1回ATWS北海道実行委員会総会を開催いたします。本日はお忙しい中、出席いただき誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます北海道観光振興監の山崎でございます。よろしくお願ひいたします。
- ・本日の総会でございますが、委員20名中、1名の書面参加を含め、全20名のご出席をいただいておりますことを報告いたします。
- ・それでは、開会にあたりまして、アドベンチャートラベルワールドサミット北海道実行委員会の会長の会長であります、北海道知事の鈴木よりご挨拶申し上げます。

(道/鈴木知事)

- ・会長を務めさせていただきます北海道知事の鈴木でございます。本日は皆様大変お忙しい中、ご出席をいただきまして心から感謝申し上げます。
- ・昨年の9月アドベンチャートラベルワールドサミットがアジアで初めて、北海道を舞台に開催をされました。残念ながら、バーチャル開催ということでの開催にはなりませんでしたものの、北海道の魅力が世界から、大変高く評価をいただき、来年の9月のリアル開催に繋がったと考えています。委員の皆様はもとより、このご尽力をいただきました皆様に対しましてこの場を借りして、心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。
- ・足元の状況といたしましては、新型コロナウイルス感染症への不安、これは残るものの、すでに海外では域内旅行が活発化しております。新型コロナ収束後の海外旅行先として、日本ということで、高い人気を得ているところでございます。
- ・リベンジ消費がすでに広がりを見せております海外市場では、アドベンチャートラベルの動きも活発化してきております。世界で70兆円を超える市場への期待もますます高まっております。
- ・このチャンスを最大限に生かしていく、世界中からお招きをする皆様に、北海道の魅力を存分に実感をしていただく。このためには、その準備に万全を期していく必要があります。
- ・アドベンチャートラベルを北海道観光を牽引する主要な柱の一つとして確立をしていく。そのためにはやらなければならないことがあるというところでございます。
- ・まずはこのアドベンチャートラベルであります。道民の皆様理解をしていただくことなどの認知度向上に向けた取り組みがあると思っています。
- ・そして、これまでグリーンシーズンが中心でありましたけども、コース設定を冬季も含めた魅力あるコースにしていく。このこともポイントになると思います。

- ・そして、アドベンチャートラベル、これに対応した、ガイドの育成、こういった今お話したようなこの課題、やらなければならないことがあると考えています。
- ・今後、これまで以上に、本日ご参加をいただいております皆様を初めとして、道内各地の関係者と緊密にこの連携をしながら、オール北海道で、しっかりアドベンチャートラベル・ワールドサミットに向けて取り組みを進めていきたい、と考えております。
- ・本日の総会では、アドベンチャートラベル・ワールドサミット 2023 の開催に向けました今後の取り組みなどについて、皆様にお諮りをするにしております。大変限られた時間ではございますけれども、皆様から、忌憚のないご意見を賜ることができればと思いますので、皆様、本日はよろしくご意見申し上げます。

(道／山崎観光振興監)

- ・それでは議事に入らせていただきます。議題 1 「ATWS2021 バーチャル北海道／日本の開催報告」、議題 2 「令和 3 年度 事業報告、決算及び監査報告」、議題 3 「令和 4 年度 事業計画及び予算」、議題 4 「実行委員会規約の改正」につきまして、実行委員会事務局長を務めております道経済部観光局長の鶴蒔より、資料に基づき一括してご説明させていただきます。

(道／鶴蒔観光局長)

- ・それでは第 1 号議案から第 4 号議案まで一括して説明させていただきます。
- ・**【第 1 号議案 ATWS2021 バーチャル北海道／日本の開催報告について】**
- ・まず第 1 号議案「ATWS2021 バーチャル北海道／日本の開催報告」についてですが、本編は大冊のため、概要版資料 1-1 の報告書概要版でご説明いたします。
- ・まず「1 イベント概要」をご覧ください。昨年開催された、アドベンチャートラベル・ワールドサミット、ATWS は、ウィズコロナ社会における新しい形として、初のバーチャル開催となり、9 月 20 日から 24 日までの日程で開催されました。主な内容として、実行委員会による取り組みをご報告いたします。
- ・まず、(1) の初日に開催されたオープニングセレモニーでは、赤羽国土交通大臣及び実行委員会会長の鈴木知事の挨拶が行われ、537 名が視聴いたしました。
- ・また、(2) の「バーチャルジャパンアドベンチャー」としては、日本の A T の魅力を伝える 30 分の映像を事前に制作し、毎日、2 コマ、合計 8 本の映像が期間中に放映され、延べ 1, 241 名が視聴しました。
- ・また (3) のサミット最終日には、「セレブレイティング北海道」が行われ、日本のプレゼンテーションが実施されました。日本政府観光局 (JNTO) による日本の紹介、阿寒アイヌ工芸協同組合専務理事であります秋辺日出男氏による講演、北海道知事からのメッセージが放映され、235 名が視聴しました。
- ・次に、「2 開催結果概要」ですが、参加者については、欧米豪を中心に 58 ヶ国から、旅行会社、メディア関係者などの事業者、617 名が参加しました。
- ・参加者の内訳ですが、地域別に見ますと、北米からの参加が最も多く、次いで、日本開催により日本人の参加者が多かったアジア、以下、ヨーロッパ、南米、オセアニアの順となっております。
- ・旅行商品について各地域とバイヤーがリアルタイムで商談する「オンライン商談会」が行われ、道内事業者は合計 51 件の商談を実施いたしました。
- ・昨年のサミットは参加者からも高い評価を得たところであり、最終日のクロージングセレモ

ニーにおいて、ケーシー・ハニスコ ATTA 会長から、2023 年の ATWS 開催地として北海道を内定する旨の発表がありました。

- ・次に「3 総括」をご覧ください。ATWS2021 開催準備及びこれまでの ATWS における ATTA 幹部や関係者との意見交換の場等で、今後取り組むべき課題を認知度向上や、ガイドの育成、魅力あるコンテンツの設定など 4 点整理いたしました。これらの課題については、アドベンチャートラベルを本道及び日本観光の主要な柱の一つとするべく、課題解決に向けて今後積極的に取り組んでまいります。

【第 2 号議案 令和 3 年（2021 年）度事業報告、決算及び監査報告について】

- ・次に、第 2 号議案「令和 3 年（2021 年）度事業報告、決算及び監査報告」について、資料 2-1「令和 3 年（2021 年）度 事業実施報告」をご覧ください
- ・「各事業の内容」の 1、「アドベンチャートラベル・ワールドサミット・バーチャル北海道／日本」開催については、第 1 号議案で説明しましたので割愛させていただきます。
- ・2 の事務局運営について、ATTA とのテレビカンファレンスを 23 回開催するなど主に ATWS バーチャル開催に向けて各種会議を開催したほか HP による広報宣伝などを実施いたしました。このほか、実行委員会構成機関が実施した関連事業を記載しております。
- ・次に、「令和 3 年度の決算」ですが、資料 2-2 の決算書をご覧ください。
- ・決算書の予算額は、バーチャル開催決定後の予算額となっております、収入の部は、前年度繰越金、協賛金、観光庁事業費等で、予算額 74,934,329 円に対し、決算額 73,393,298 円、支出の部は、事業費はサミットで放映した映像制作に関するものが主なもので、事務局経費、その他として ATWS2023 の着手金、9 万 5000 ドル、日本円にして、1058 万 3950 円の支出があり、予算額 74,934,329 円に対し、決算額 73,393,298 円、うち令和 4 年度への繰越金は 820,292 円となっております。
- ・次に監査報告ですが、本日、監事の北海道経済連合会の真弓様、北海道経済同友会の安田様が所用のため欠席されておりますので、先般事前に訪問し、監査を行っていただいた結果について、私の方からご報告します。
- ・資料の監査報告書をご覧ください。会計帳簿や関係書類等を調査した結果、「事業報告」、「会計」、「その他付属書類」の内容について、両監事から適正であると認めていただきました。以上で監査報告とさせていただきます。

【第 3 号議案 令和 4 年（2022 年）度事業計画及び予算について】

- ・続きまして、第 3 号議案「令和 4 年（2022 年）度事業計画及び予算」については、事業計画の概要について 1 枚もので整理しました「ATWS2023 に向けた令和 4 年度の主な取組」によりご説明いたします。
- ・資料中、今年度の新規拡充事業は赤字で、また実行委員会が主体となって実施する事業は、塗りつぶしの黒丸赤丸で表記しております。
- ・まず一番上の番号夏の ATWS2023 開催に向けた準備としては、実行委員会では、今年の 10 月 3 日から 6 日にスイスのルガーノで開催されます ATWS2022 への参加・出展し、ATWS2023 の開催に向けて実施計画の作成や ATTA の招へいを行っていきます。
- ・その下からは ATWS2023 の開催に向け、先ほど第 1 号議案でご説明した 4 つの課題を解決していくため、実行委員会が実施する事業並びに実行委員会構成員が実施します関連事業の主なものを、以下の①から④で整理しております。
- ・まず、①の「機運の醸成・日本国内外における認知度の向上」では実行委員会においてホー

ムページや様々な機会を通じて露出度を高め、ATWS2023に向けた機運の醸成を行っていくとともに観光振興機構やJNTOなどによるPR動画の制作、Webサイトの整備などを実施していきます。

- ・次に、②の「質の高いガイド等の育成・確保」では、道によるアドベンチャートラベルに対応した新たなガイド制度の検討、トライアルの実施のほか、北海道運輸局や道が各種研修やセミナーなどを実施します。
- ・次に、③「高い顧客ニーズに対応した魅力あるコンテンツ・コースの設定」では、これまでグリーンシーズンが中心であったことから、冬期を含めた通年の商品造成を観光振興機構で実施するほか、実行委員会において、コンベンション会議後に完全招待制で行われるポストサミットアドベンチャーの商品造成や、北海道運輸局や観光振興機構によるATツアーの磨き上げなどを実施します。
- ・次に、④「商品販売体制の整備」では、観光振興機構やJNTOによる商談会の開催などを実施していきます。
- ・ただ今ご説明した各種事業のうち、実行委員会が実施する事業予算については、資料3-2の「令和4年度予算書」をご覧ください。
- ・まず収入の部は、前年度繰越金、負担金収入、協賛金収入を合わせて、予算額52,874,292円となります。
- ・支出の部ですが、先ほどご説明した実行委員会事業としてATWS2023実施計画やATWS2022出展等の各種事業に係る事業費予算が47,851,200円、事務局経費が3,553,000円、その他(予備費)が1,470,092円で、合計52,874,292円となります。

【第4号議案 実行委員会規約の改正について】

- ・最後に、第4号議案「実行委員会規約の改正」について、資料4の「ATWS北海道実行委員会規約 新旧対照表」をご覧ください。
- ・実行委員会構成において職名の変更があったことから、新旧対照表の通り規約の別表を改正するものでございます。
- ・説明は以上です。

(道/山崎観光振興監)

- ・ただいま説明がありました資料の内容につきましては、5月18日に開催いたしました実行委員会の幹事会におきまして、ご承認をいただいているところでございますが、委員の皆様からご意見等ございますでしょうか。
- ・それでは議事の1から4につきましてご承認いただけますでしょうか。
- ・ご異議なしと認め、全会一致での承認とさせていただきます。
- ・本日の議事は以上でございますが、委員の皆様からATWS2023に向けた取り組みを含め全体を通じて、ご発言等、ございますでしょうか。秋元市長様、いかがでしょうか。

(札幌市/秋元市長)

- ・ありがとうございます。札幌市長の秋元でございます。まず昨年9月に開催されましたATWS2021におきまして、委員の皆さんそれから関係する皆様のご尽力によりまして、無事開催ができたということでありまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。
- ・こういった取り組みが、23年の北海道開催につながるということができたということでございまして、アドベンチャートラベル推進に関わってこられた皆さん方に心から敬意を表したいと思

ますし、北海道の魅力というものが世界に評価をされた結果だと認識をしております。

- ・ ご案内の通りアドベンチャーtravelというのは北海道の雄大な自然、そして、独自の歴史、文化、食、世界レベルにありますパウダースノーと言った観光資源、これを十二分に生かせる旅行形態ではないかと認識をしております。こうした資源を生かして、持続的に付加価値の高い観光を実現していくため、アドベンチャーtravelを北海道に根付かしていくことが重要ではないかと思っております。
- ・ 2023年のリアル開催につきましては、この、北海道のアドベンチャーtravelの魅力の世界中に発信をしていく、そして、大きく推進をさせていくチャンスであろうかと思っておりますので、冒頭知事のご発言もありましたように、札幌市としても、これに向けて、しっかり準備を進めていきたいと思っております。
- ・ 札幌市におきましてはコンベンションのメイン会場ということにもなりますので、ホストシティとしての役割をしっかり果たせるように、皆様のご協力をいただきながら、総力を挙げて準備に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(道／山崎観光振興監)

- ・ では蝦名市長様、お願いします。

(釧路市／蝦名市長)

- ・ 釧路市長の蝦名でございます。
- ・ 私からも、ATWSが昨年のバーチャル開催から、皆さんのお力でよい評価をいただき、'23年のリアル開催に繋がったということでございますので、あらためまして会長である鈴木知事をはじめ、皆様のご尽力に感謝を申し上げます。
- ・ その上で、リアル開催をしっかり成功させていくことが必要だと思っております、先ほど、今後の取り組みを決めていただいたところですけど、しっかり進めていくことが重要だと考えております。
- ・ 私ども、ATWSの開催に向けましては、当初、2016年、2017年に、ATTAのシャノンCEOが釧路地域に来ていただき、自然の素晴らしさ、様々な取り組みの素晴らしさというものをご評価いただいたことをきっかけとして、観光資源を総合的に考えていく重要性を認識したところでもあります。つまり、一つ一つの観光資源の磨き上げももちろん重要でありますけど、現在取り組んでいる自然保護、自然との共生活動など一つ一つの積み重ね、ストーリーが観光資源としての価値をさらに上げていくということです。こうした地域の取り組みや価値観を世界に発信していくことが重要であろうと考えているところですので、全力を挙げて取り組んでまいりたいと思っております。
- ・ これはまたさらに、北海道全体の価値を上げて、そしてこの素晴らしい自然環境が北海道にとっていかに重要かということの世界に発信できる機会であると思っておりますので、頑張ってまいりたいと考えております。よろしくようお願い申し上げます。
- ・ 私から以上です。

(道／山崎観光振興監)

- ・ その他いかがでしょうか。
- ・ それでは、最後に会長である知事から一言申し上げます。

(道／鈴木知事)

- ・ 本日は忙しい中、ご出席をいただき各議題についてご審議をいただきました。本当に感謝申し上げます。
- ・ ご承認をいただきました。事業計画のもと、適正な執行に努めて参ります。
- ・ また札幌市の秋元市長、そして、釧路市の蝦名市長からは、それぞれ大変心強いご発言をいただいたところでございます。お二人の市長をはじめとして、皆様としっかり連携をして、取り組みを前へと進めてまいりたいと考えております。
- ・ 冒頭、ご挨拶の中でも申し上げたところでございますけども、1年後であります。アドベンチャートラベル・ワールドサミット、リアル開催。北海道の観光にとって本当に大きなチャンスだと思っています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が世界でパンデミックという形で広がりましたが、そういう中でバーチャル開催からのリアル開催の実現ということが大きなチャンスであると思っています。
- ・ 北海道の観光にとってこの大きなチャンス、この効果。それを最大限に高めていく。そのためには、繰り返しになりますけども皆様からお話がありました。受け入れの準備、これに万全を期していくということが何よりも重要だというふうに思っています。
- ・ 道としても、これまで以上に、道民の皆様に対しまして、アドベンチャートラベルに理解をしていただくということと、その認知度の向上、そして機運の醸成など、皆様とともに、しっかり取り組みを進めていきたいと考えておりますので、よりご理解とご協力をお願い申し上げて、簡単でございますけども本日の感謝に変えたいと思います。本日は皆様ありがとうございました。

(道／山崎観光振興監)

- ・ これにて本日の総会は終了させていただきます。本日はお忙しいところご参加いただきありがとうございました。

(了)